

今年度の成果と今後の課題

かくこと

—成果—

低学年

- どの子も絵ではなく、○やブロックで図がかけるようになった。(1年)
- 矢印などを使って、操作したことを表せる子が多い。
- 図をかくことで、課題を解決しようとする子が増えてきている。(2年)
- 説明をかくことに慣れてきている。

中学年

- 自分の考えを絵や図を使ってノートにかこうとする子が多くなっている。
- 絵や図から式へと導き出そうとする子が多くなっている。
- 友だちの考えを参考にして、考えをまとめていける子が少しずつ増えてきた。

高学年

- 図を用いて思考し、立式、答えと導いていく流れでかくことができるようになった。
- 算数用語や順序を表す言葉などを用いて、友だちが見て解るようなノートをかくことができるようになってきている。
- 線分図、関係図、テープ図、図形など課題に応じて必要なものを選びかくことができるようになってきている。

なかよし

- 子どもの興味のある題材を選び、負担にならない量でかくようにしてきたので、かくことに慣れてきた。
- かくことに抵抗のある子が多いので、負担を軽くするようなワークシートを用いたり、型を提示したりすることで意欲的に取り組める子が増えた。

どの学年においても、算数ではかいて考えるという学習形態ができています。解っていることをまず、図や絵、線分図にかいて考えられている。さらに、説明するための言葉や解説も入れようとする姿勢が多く見られている。

—課題—

低学年

- 操作したことをそのまま絵や図に表すのが難しいと感じる子がいる。
- 型やヒントがないとかき出せない子がいる。
- 振り返りの作文では他の考えと比べてかくのが難しい子が多い。

中学年

- 自分の考えを言葉を使って、その中に数や式を入れながらかいていくことが難しい。
- 説明をわかりやすくかくのが難しい。
- 学習後のまとめをかくとき、その授業の重要ポイントを入れながらかける子が少ない。

高学年

- 関係図や線分図が自分ではかけない子がいる。
→手助けとなるプリントをいつも用意してやりたい。
- 途中までかけるが、解らなくなってきた最後までかけない子もいる。

なかよし

- 個々の特性に応じた「実生活」に生きるかく力とは何かを考えてきたが、よい方法を見つけて出すことが難しかった。

かくことが難しい子たちが、かき出せるような手立てや手助けとなる資料等の準備が必要と考えられる。

きくこと・話すこと

—成果—

低学年

- 年度当初は言いたいばかりだったのが、友だちの話を聞けるようになった。(1年)
- 周りを巻き込むような話し方ができる子が増えてきている。(2年)
- 「どうしてか」という言葉をつけて、わけを言える子が多い。
- 絵や図をさしながら話せる子が、少しずつ増えてきている。

中学年

- 自分の考えたことを順序立てて話せる子が増えてきている。
- 図などを指し示し、友だちに分かるように工夫して説明できる子も増えてきている。
- 友だちの意見を聞いて、付け加えたり、よりよい考えにつなげたりしようとする子が出てきている。

高学年

- 全体の課題解決に必要な情報を取捨選択し、発言できる子が増えてきた。
- 相手意識を持って発言し、また、話を聞いてみんなの分からないところに焦点を当てて考え、話せるようになった。
- 小グループで話し合いをする機会を多くとることで、算数が苦手な子どもたちの意欲が高まった。

なかよし

- 相手の顔を見て、途中で口をはさまずにきくことを指導してきて、きけるようになってきている。
- 相手に分かるように話すことを意識できるようになってきている。

声の大きさ、みんなの方を向いて、区切りながら、絵や図をさしながらなど、みんなに伝える話し方をどの学年でも指導しているので、伝えることを意識できるようになってきている。

—課題—

低学年

- 語彙が少なく、自分の考えをうまく説明できない子がいる。
- ぼんやりとしていて、聞いていない子もいる。
- 自分の考えで精一杯で、人の考えを知ろうとしない子もいる。
- みんなを巻き込むような発言ができない子もいる。

中学年

- 考えを人にあずけ、ぼんやりときいている子がいる。
- 自分の考えを言葉で表すことが苦手で、指名しても黙ったままの子がいる。
- まだまだ、自分の考えと比べてきくのが難しく、つなげて話し合うのが難しい。
- 人を意識しながら話すのが難しい子もいる。

高学年

- 自分の中で理解できていることも、説明するとき言葉足らずになり、うまく伝わらないことがある。
- 分からないことを質問できる子がいる反面、そのままになっている子もいる。
- 一斉学習で、周りを巻き込んだ話し合いにもっていくのは難しい。

なかよし

- 集中力が保てなかったり、興味が薄かったりすると話を聞くことが難しくなる。
- 語彙が少なく、考えていることを話すのは難しい。

大きく態度は、ある程度育っているものの、自分の考えと比べるなど主体的な聞き方ができる子はまだまだ少ない。また、語彙の少なさが表現することを難しくさせている。

「かくこと」「きくこと・話すこと」について、研究を進めてきた。それぞれの学年での実態を出し合い、どんな手立てがよいのかを話し合っ、試行錯誤を続けている。

来年度も、引き続き、いろいろな場で子どもたちの語彙を増やす取組をしつつ、思考力を高めるための「かくこと」「きくこと・話すこと」について、研究を進めていきたい。

低学年用

考えノート


◎じぶんの考えたことや、思いついたことをどどんかいていこう！

- ☆線や図をつけて
- ☆じぶんの考えをくわしく、考えたじゆんかいていく。

♪つぎのことをつかうとかきやすいよ

・はじめに	・つぎに	・どうしてかというと	・たぶん
・1ばん目に～	・2ばん目に～	・できなかったの	

○とちゅうまでいいよ。わかるどころまでかいてみよう。
・わかるどころ ・なやんでいるところ ・こまったところ




ぜんすうきくぶん
算数作文

◎学しゅうを思い出してかこう。

- 学しゅうして～がわかったよ。
- こまったことは～です。
- ～さんの考えは・・・です。
- つぎは～をしりたいです。

☆友だちのいけんもしつかりきいてかこう。
☆読みかえしたとき、その学しゅうやじぶんの考えを思い出せるようかこう！




中・高学年用

考えノート

◎自分の考えたことや、思いついたことをどどんかいていこう！

- ☆線や図や表を使って
- ☆言葉や数や式を使って
- ☆自分の考えをくわしく、考えた順かいていく。




♪次のような言葉を使うとかきやすいよ

・まず	・はじめに
・つぎに	・それから
・やってみると	・でも
・できなかったの	・だから
・わからないのは	・たぶん
・なぜかという	・ちがうやりかたは
・たしかめると	

○とちゅうまでいいよ。
○わかるどころまでかいてみよう。


- ・わかるどころ
- ・なやんでいるところ
- ・こまったところ



算数作文

◎学習を思い出してかこう。

- 学習して～がわかったよ。
- わたしの考えは～だったけど。
- ～さんの考えとちがって～。
- ～さんの考えといていて～。
- ～さんの考えと比べると～。
- 今日の学習で一番良かったのは～。
- こまったことは～です。
- むずかしかったことは～です。
- はじめと考えが変わって～。
- 次は～を知りたいです。
- もっと知りたいことは～です。



☆友だちの意見もしつかり聞いてかこう。
☆読み進んだ時、その学習や自分の考えを思い出せるようかこう。
☆なるほど！と思った友だちの考えを、かき残しておいてもいいね。
(線や図や文などで)

